

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達センターあつた		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 15人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が子どもたちの姿を集団で捉え合い、子どもの発達を促すあそびに取り組んだり、それぞれのお子さんの姿に合わせた関わりを大切にしている	専門的な知識や支援の充実をはかるために、法人全体で計画的に職員研修に取り組んでいる。	PTやSTなどの専門的な訓練は事業所内で出来ないため、中央療育センターや地域の事業所と連携を図りながら、必要に応じて利用できるサービスへとつないでいく。
2	乳幼児期から、学齢期まで利用できるサービスがあるため、子どもの姿を継続的に捉え、つながりのある支援を提供することができる。	保護者の方が、少し先の生活の見通しが持てるように、先輩お母さんとの交流の場を設けたり、学習会を設定したりしている。	基幹相談支援センターと連携を図り、学校を卒業した後の生活の事や、福祉制度の学習をする機会を設ける。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の老朽化(隙間風、建物が暗い、雨天時の対応)	・行政の立て替え計画がまだ数年先のため、大型修繕が不可能なため。	・部屋や扉のリフォームなど出来る範囲で修繕を進め、安全に生活できるようにしていく。 ・必要な場合には、危険箇所も含め、早急に修繕などをしていく。 ・大規模修繕に関しては、名古屋市とともに検討していく。
2	・交流保育の機会がない。	・コロナ禍以前は行っていたが、それ以降つながりが切れてしまっている。	・地域の公立保育園と年2回の交流を行っていたこともあったため、再度連絡を取り合い、検討をしていく。
3	・定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているが、紙媒体が多い。	・他のセンターでコドモンなどのアプリを試験的に導入している圏もあるが、ICT化にも賛否があるので使用してみでの評価をしているため。	・保護者のみなさんの意見を聞きながら、どのような媒体が良いか研究、検討をしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達センターあつた					公表日	2025年 3月 27日				
						利用児 数	39人		回収数	28/38 73%	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	3	2	0	・元気な子供が多いので、教室や遊戯室ももう少し広いと嬉しいと思う。	・とりくみ内容や人数にあわせて、遊戯室でとりくむなど、広々とあそべるように工夫し			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	3	1	1		・配置基準以上の体制を入れるようにしてい			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4	3	0	・バリアフリーではないので足が不自由な子は介助がいる。	・段差の解消、手すりなど、必要な箇所に して検討していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	7	5	1	・古い建物だから所々壊れたりしている。 ・清潔を意識してもらっているが、建物の老朽化により改善すべき環境があると思う。 ・冬季でも窓ガラスからの紫外線が強いイメージ。猛暑日に向けてUV対策や室内での熱中症対策も必要なのかなと感じる。 ・先生方が本当によく清掃してくれて清潔にしてくれていて有り難い。 ・水道の蛇口が使いにくいところが多すぎる。 ・一言で申すと、老朽化が激しい。まずそこを変えなければ何も変わらないと思う。 ・老朽化で仕方ないが、トイレが暗い、冬の隙間風、雨天時の対策など改善されたいと思う。 ・おむつは園で処理して欲しい。 ・トイレの床が清潔なのか不安がある。排便のときに先生による拭き残しがあって、子どものお尻が荒れたので、先生達がちゃんとしっかりお尻を拭けるように、場所をしっかりと確保してほしい。 <small>・建物がお互い汚れている箇所がある</small>	・老朽化については、部屋や扉のリフォームなど出来る範囲で修繕を進め、安全に生活できるようにしています。必要な場合には、危険箇所も含め、早急に修繕などをしていきます。大規模修繕に関しては、名古屋市とともに検討していきます。気になるところがあれば、今後もお伝えください。 ・名古屋市からもあつたの立て替えについては、将来計画に検討されています。今後とも、実現させる会などの活動を通して、要望を保護者の方々にもしっかりと伝えていただけたらと思います。 ・オムツのゴミ処理については、保育園は名古屋から補助金が出ているが、児童発達施設には出ていないため、費用負担も含め検討しています。 ・トイレ掃除は保育終了後にモースで消毒を行い、除菌・清掃するようにしています。 ・トイレの床も定期的に消毒するようにしています。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	5	1	1	・相談支援の先生が1人しかいなくて、とても忙しそう で、相談したいときに、気軽に相談出来ない。少なくとも2人以上は相談支援の先生を用意してほしい。	・サービスの相談も通園の担任に相談できるように努力していきます。担任が相談支援員と丁寧に連携をとっていきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	0	4		・今年度中にホームページ等に掲載できるように現在作成をしています。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1	0	2	・本当に先生方のご理解のおかげで子どもがここまで成長できていると思います。ありがたい限りです。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2	0	1		・後半期の支援計画には、「本人支援」「家族支援」の他に「移行支援」の項目ものせるようにしています。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	2	1	1	・いつも寄り添って対応してくれている。	・支援計画に基づいた支援、子どもたちに寄			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2	0	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	16	5	・他のこどもとの交流を望まないこども達なので、保護者としても無理に交流しないでもいいと思う。 ・他の園との交流は全くないと思う。	・コロナ禍以前は地域の公立保育園との交流を年2回行っていました。現在は行っていません。今後、検討をしています。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	0					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	0					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1	0	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	0	0	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	0	0	0					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	3	0	0	・先生が本来の担任のクラスに入らない先生がおり、それがどうい理由からなのかちゃんと説明されないから、不安である。預ける親としてはちゃんと説明してもらえないとなると、先生方にも園にも不信感が芽生える。	・全体の体制上、担任以外の職員がクラス保育に入ることもあります。保護者の皆さんに不安がないよう、説明を行っています。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	24	1	0	3	・親の会があることでクラスや子供の年齢を越えた保護者との交流の機会が多数あり、とても助かっていて有り難いです。	・月1回、親の会定例会を実施し、他の学年の保護者ともつながる機会を設けています。親の会の活動内容については、役員さんとも相談しながら今後も決めていきたいと思っています。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	1	1	・いつ相談してもいつも親身になって相談に乗ってくれたり、気になるところをしばらくは連絡ノートで書いてくださって細かく教えてくださるので感謝しています。	・引き続き、要望やご意見にできるだけ迅速に対応していきます。			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	0					

非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体での発信は多いが、もっとデジタル化してほしい。例えば連絡帳やお便りはコードモンなどのアプリを利用し、情報共有・ペーパーレス化してほしい。 普段の園生活で撮影した写真をはい！チーズで販売してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のセンターでコードモンなどのアプリを試験的に導入している園もあります。使用してみでの評価をもとに、検討を行っています。今後、保護者のみなさんの意見を聞きながら、どのような媒体が良いか研究、検討を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1	1	2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3	0	5		<ul style="list-style-type: none"> 1つ1つのマニュアルについて、保護者への丁寧な説明ができていないため、今後周知の方法を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にこども達に避難訓練をしてくれるのが助かる。 実際、緊急事態が発生した時のことはわからないが、避難訓練をして下さるので少し安心。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波、火災など様々な状況を想定した訓練を月に1回行っています。その他にバス事故、不審者対応の訓練も行っています。親子登園時の訓練も行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	0	2		
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	0	5			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがバスを見つけると、嬉しそうに走って乗り込んでいる。その姿を見て息子が安心して通える場所なんだなと思った。クラス以外の先生方も子どもたちに目を配ってくれているので、常に園全体で子どもの成長を見てもらえてることに安心感もあるし、感謝している。専門的な療育、支援と言うよりも、常に温かく寄り添ってくれて、愛情をたくさん受けて本人たちが安心してのびのび活動できる場所になっているのかなと思うので、とても満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが毎日、楽しく園に通えていることは、職員一同、とても嬉しく感じています。毎日、子どもたちを園に送り出しているだけ保護者の方々にも感謝しています。引き続き、園全体で子どもたちの成長を見守りながら、楽しく通える場にしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 子供が通うことを凄く楽しみにしています。少しずつですが見通しをもてたり、人に興味が出て親以外を頼ったりする姿も多くなりました。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 満足している部分も多いが、改善点も多くある。水曜日のバス送迎や、預かり時間の拡大、共働き家庭の利用者への配慮を増やしてほしい。時代に即していない部分や、例年通りの行事や親の会活動もそもそもに改革が必要に思う。 先生方は園長も含め、みなさんとても良い人たちです。だから子供を安心して通わせられる、その点ではとても満足している。ただ、子供に対する支援の仕方そのものを老朽化した建物込みで考えた方が良いと思う。 他に療育施設があれば、転園も検討するが無いため、通わざるをえない。先生の人数も余裕が欲しい。行事を不参加で提出すると、理由を書かされたり、参加を説得されたりするのが困る。一般的な家庭より負担の大きい障がい児の育児なので、行事の参加、不参加をもっと精神的に自由にしてほしい。不参加の際に、理由を書かされるのをやめてほしい。 通わせて良かったなと思っています。 PT.STの訓練があると良いと思う。 満足度はとても高いです。子どもが毎日楽しく笑顔で通う姿はやはり素晴らしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を受け、行事は変更を行って来ています。今後も子どもに経験させたい行事について、保護者の方の意見も伺いながら検討をしていきます。 児童発達支援施設には、訓練士が配置されていません。今後も名古屋市の方に要望を伝えていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		発達センターあつた		公表日		2025年 3月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1	・保育室は子どもの数に比べて広い。大きな設定も置ける。 ・あそび、食事、睡眠が十分にできるスペースがある。	・雨が降った時や行事の時にゆぎ室の様な広い部屋がもう一つあると思う時がある。 ・親子登園時、子どもが9名になるとあそびの面では少し狭さを感じる。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	4	事務やデイ職員にも協力を得ながら、運営している。	・配置基準は守られているが、ギリギリラインなので潤っているとは言えない。子どもの状況から（未歩行のお子さん）はもう一人必要な状況もある。 ・子どもの安全面を考えると、もう少し職員が多い方がいい。人手は足りていない。目が行き届かないことが多い。 ・有給がとりやすいように。もう少し人数が欲しい。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	5	・生活空間はクラスそれぞれが工夫をしている。通園は1階なので、特に大きな段差はない。 ・安全面では現在特に問題はない。	・配置基準は守られているが、ギリギリラインなので潤っているとは言えない。子どもの状況から（未歩行のお子さん）はもう一人必要な状況もある。 ・子どもの安全面を考えると、もう少し職員が多い方がいい。人手は足りていない。目が行き届かないことが多い。 ・有給がとりやすいように。もう少し人数が欲しい。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	3		・冷房、暖房の効きがわるいところがある。 ・掃除は毎日しているが、保育で使ったものが置きっぱなしになっていたため、片付けを徹底していくことが必要。クラスによってはバラつきもある。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	7		・常時、子どもが個別の部屋を使用することは難しい環境である。個別の部屋がない。 ・一つひとつの部屋は広いので、室内を区切るなどの工夫はしているが、空き部屋などはない。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	4	会議で行っている。	・PDCAサイクルがわからない。職員への周知が少ない。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	なるべく意向等にそえるよう、できることはしてきている。	親の会も含め、改善できるところは話し合えるといい。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	4	・個々に話せたり、会議でも次に活かそうとしていると思う。	・意見は聞くが、その後の改善につなげていないと思う。 ・意見を言うことはできるが、その後の深め合いは足りない部分もある。職員同士が意見をいい合えるといい。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	1	今年からお願している。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・法人全体の研修や施設での研修で日々の保育に活かしている。 ・1年目、3年目、中堅、上級など経験年数にあわせた研修や自主研修など研修の機会は多くある。 ・勤務内に研修の場を設けていただいていたため、研修費も出るため受けやすい。 ・実践検討、虐待防止、保育・親子支援等、様々な研修をそよ風と共にやっている。			
その他	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	15		・作成しているところであり、今年度中に公表予定。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	・保護者から聞き取ったものを書類に残し、日々の姿と照らし合わせながら作成はしている(と思う)。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	日々のケースの中で保育者間で共有している。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	3				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	本人支援を中心に計画作成している。			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画を全職員が参加する会議で提案し、意見をもらうようにしている。 ・月案、週案を学年会やクラスケースで行い、とりくみを決めている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・同じあそびでも細かな調整をしている。子どもにとっては同じあそびのくり返しも大切だと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容のあそびをずっと行っているクラスもあるため、療育内容を検討する会議などがもっとあるといい。 ・クラス単位で話し合い固定化しないようにしているが行事が近付くと同じあそびが続くこともある。 ・毎年検討し直す、大きくは変わらない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもそれぞれに合わせた関わりを日々の生活、あそびの中で大切にしている。 ・個別と集団を子どもの状況に合わせて支援している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で打ち合わせをすること、合わせてクラス単位で細かく打ち合わせをしている。 ・出席確認、その日のとりくみ内容を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体制上難しい時もある。 ・ケースの時間を確保してほしい。 ・バスに乗ったりすることもあるので、必ず確認することはできていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースの時間の中でその日の振り返り、また、翌日の支援についてクラス間で話し合い共有をしている。 ・支援終了後には必ずクラス間で話し合いをしている。 ・クラス単位であるがケース時間で振り返っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずではない。できない日もあるが、顔を合わせれば伝え合うことはある。 ・体制上難しい時もある。 ・行事や他の仕事が被るとケースを行えない時がある。 ・ケースの内容が次につながる内容かどうか、容検討は必要。 ・業務内容に余裕がなく、時間を取れない時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌に書くようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録しているが、ケースで話した内容の反映ではない。(ケース以外の時間で書くことがあるため)ケースしながら、書くのが良いなあと思うが・・・。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	1		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングのタイミングがわからない。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・連携する機会が常にあるわけではないので、必要に応じて行っている。 ・保健センターとの連携会議など定期的に行っている。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎ資料を送付し、保育園生活に慣れた頃にアフター訪問を実施し、担任や園長と情報共有をさせてもらっている。 ・業種を超えて研修を行う機会がある。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎ資料を送付し、学校生活に慣れた頃にアフター訪問を実施し、担任や教頭と情報共有をさせてもらっている。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所連絡会に役員として参加している。 ・児童発達支援センターの施設長会やワーキングに毎回参加している。 	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修はある。 ・定期的に中央療育センターから療育のスタッフを派遣してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTやOTの先生など子どもたちの姿から色々知りたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園長(管理者)・デイ児発管・相談支援専門員が参加している。 ・自立支援協議会の子ども部会は部会長を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員の参加は難しい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	13	<ul style="list-style-type: none"> ・公園で他園がいて、あいさつしたり、時にシャボン玉や砂あそびと一緒にとりくませてもらえることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前のように直接的な関わりを持っていない現状がある。機会は設けられていない。 ・交流はしてみたいと思う。 ・今後設けていきたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の登園日(水)に親御さんと直接お話をし確認し合ったり、日々の連絡ノートで状況を伝え合っている。必要に応じて懇談もしている。 		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度、研修や交流の機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスとしての支援プログラムが全然出てなかったと思う。園としてとりくまれており、お母さんたちはすごく学びになっている感想が多い。 	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	・年度始めに全員の保護者に説明を行うようにしている。また、希望者の方がいつでも閲覧できるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・アセスメントを通して、確認している。子どもの姿を中心にしながら、家族の意向もすり合わせ話し合ってきている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・水曜日の親子登園日や連絡ノートを中心に話してきている。必要な場合、懇談や家庭状況を知るために訪問も行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	0	・親の会、父親の交流する機会、きょうだい児のとりくみを行っている。行事などでも保護者同士が交流できる機会をつくっている。 ・父親同士は環境整備や参観の時に交流をしている。今年度、父親の学習会を行う予定。きょうだい児に関しては、今年度きょうだい児プログラムを土曜日に実施している。	・きょうだい同士の交流の機会がもう少し増えるといいなと思う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	3	・紙媒体ではあるが、クラスだより、園だより等で発信している。	・法人でのHPはあるが、事業所としてのSNSはない。常に更新しているものはない。 ・最近はアプリなどを使ったおたよりなども増えているため、活用してもいいと思った。 ・紙が多くなってしまう時もある。保護者からはデジタル化との要望もある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	1		・それぞれがしっかり意識はあるが、名前が入ったものが職員室の机に置きっぱなしもある。一定机の上をきれいにした方が良いのでは…。 ・連絡ノートが職員室の机の上に置きっぱなしになっているなどがあるため、管理に気をつけていくことが必要。 ・例えば職員室であっても席を離れる時には、個人情報が見えないような工夫をしていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	3		・コロナ前は年1回のあったかカーニバルに折り込みチラシを入れて来ていただいた時もあった。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1		・引き渡し訓練も必要かと思う。水曜日の帰りとかに取り組んでみてはどうか？ ・家族への周知をもう少し広げていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1	・月1回の防災訓練や不審者訓練、バス訓練などを行っている。今年度は消防士、区役所職員に来ていただき、防災の学習会を行った。 ・全職員でBCPの確認を行った。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15	0	職員全体で確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・毎日アレルギー用の献立を作成し、保護者・担任・管理栄養士の三者で確認し、連携をとっている。 ・指示書は入園前にもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	0	15		・作成しているところであり、今年度中に公表予定。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	15		・作成しているところであり、今年度中に公表予定。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・毎週水曜日にヒヤリハット、過誤報告を行い、全体に周知するように共有している。	・共有しているが、なかなか再発防止に向けての検討は十分にできていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1	・虐待防止研修とあわせて、虐待の芽アンケートを職員全員が行っている。	・虐待について全職などで研修はあったが、保育現場内における虐待について話を聞きたい。子どもの呼び捨て、あだ名もありなのか？
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	2	・支援計画に記載されている。	・どのような場合に身体拘束を行うかどうか…職員がどこまで理解しているかはわからない。